「9条世界会議」に参加して
世界は憲法9条に期待している！

二月二四日にヒロシマを出発したピースウォークが三島に到着したのは四月一八日だった。二週間余り歩き続けて目指す千葉に着いたのは五月三日の憲法記念日。翌四日から三日間、幕張メッセで「9条世界会議」が開かれ、参加した。

初日は一万二千人が会場を埋めた。溢れた三千人のために場外で講演会が開かれた。この熱気をメディア、特にテレビはほとんど伝えなかった。

三九の国から集まった一五〇人は口々に9条への期待を語った。ノーベル平和賞受賞者のマイレッド・マグワイアさんとコーラ・ワイスさんの平和への情熱あふれるスピーチは強烈な幕開けだった。一昨年、三島に招いたイラク支援ボランティアの高遠菜穂子さんは、「（自衛隊のイラク派遣により）日本は9条を破ったと見られ、人質にされた。けれど殺されなかった。私たちがイラクで丸腰で対話を続けてきたことを相手が知ったからだ。9条で命を救われたのです」と話した。

二日目の「9条を生かす分科会」は計六千五百人が参加、三〇以上のシンポジウムとコンサート、映画会もあった。この日も会場は人が溢れた。椅子に掛けられず、床に座って聞いた。世界の紛争地域の人々は「9条を変えることは紛争で苦しんでいる国を裏切ることになる。日本は9条を守る責任がある」「9条は日本以外の国にとっても大切だ」と異口同音。エクアドル先住民のコタカチ郡知事も「私が大統領になったらまず9条をつくる」と言った。

アフガニスタンで軍閥の武装解除を成功させた伊勢崎賢治さんは「いかにして紛争を起こさないかが現代の最大の問題」と予防的援助の責任を訴えた。コスタリカは平和憲法を使って周辺国の内戦を終わらせ、平和を輸出している！　パックス・アメリカーナ（米国支配による世界秩序）から抜け出しつつある南米にならって、日米安保条約を見直してパックス・エコロジカの時代にしよう、と言った。「世界は9条を選び始めた」というこの会議にふさわしい発言だった。

5月4・5・6日千葉県幕張メッセ9条世界会議会場

朝日新聞記者の伊藤千尋さんの話に感動した。ベネズエラの町を歩いていたら、露天の台の上にナンと「ベネズエラ連邦共和国憲法」が並んでいる。誰が買うんだろう？と眺めていると、赤ん坊を背負った主婦が買った。思わず追いかけて「本、どうするの？」と声をかけると、「憲法を知らないでどうやって生きていくの？　どうやって闘うの？」と彼女は答えたそうだ。

憲法は護るだけじゃダメ。私たちの暮らしに「憲法を活かすこと」「活憲」が大切だ！　憲法で暮らしを守るんだ。役所で話すときは憲法を携えて行くんだ。そうだ、憲法を使いこなすんだ！

武力の行使を永久に放棄し、戦力を持たないことを定めた日本の憲法9条が世界に広がることに希望を託す人々がたくさんいることを実感した日だった。また、三島での集会と違い、二十代・三十代の若者の姿が半数以上を占めていたこと、会場の雰囲気が堅苦しくなくて日常生活の延長という感じだったことに、憲法の日常化を見、希望と元気をもらった世界会議だった。

（石垣苺）

生活保護の扉を閉ざす冷たい三島市
三島市の母子保護の現状！

東京在住、フィリッピン国籍の母子が、酒乱の日本人夫の暴力から逃れ、親子三人、友人を頼って着の身着のまま三島にやってきた。だが、急なことで行く当てもない。その友人から話を聞くと所持金は五千円だけ、明日からの生活の目途が立たない。翌日、アミーゴス（三島市内にある在日外国人支援団体）の事務所で善後策を相談した。とりあえず市の窓口に相談し、対応してもらうことにした。

DV（ドメスチク・バイオレンス）関係の窓口は子育て支援課という。色々話をすると、DVと認定されれば県が対応するが、DVとするには問題があった。市として対応できるのは市内在住者だけという。母子はもう東京に戻るつもりは無い。知り合いのいる三島で暮らしたいという。

早速、三島市に外国人登録を移した。次の段階は生活保護が受けられるかどうか、市の担当者に聞くと、あっさり駄目だという。理由は本人が元気で働けるからだとのこと。仮住まいは確保したが、幼児二人を抱えて仕事を探すのもまま成らない。手持ちのお金が数千円。このままだと一週間もすれば親子三人餓死することもありうる。

現在、三島市にはこんな場合の緊急避難場所が何も無い。数年前まで「佐野母子寮」というのがあったが、経費節減のため取り壊したという。

生活保護が駄目で、職を探すにも幼児を抱えて、保育所は満杯で入れる状態ではないという。何というさびしい行政の対応だ！路頭に迷う母子三人の命が守れない市の現状が情けない。

市の冷たい対応を聞き、首をうなだれ悲嘆に暮れる母親の横で、三歳になる娘の大きな瞳から、大粒の涙がこぼれ落ちた。「ママがかわいそう」と一言つぶやいて、その子も首をうなだれたまま、暫く沈黙が続いた。

・・・

交差点

自彊術（じきょうじゅつ）を知っていますか？
―誰にでも手軽にできる健康法―

「自彊術」と聞いても知らない人がほとんどではないだろうか。

私がはじめて自彊術を知ったのは二年前のこと、六〇代半ばの友人から、面白みのない体操だけれど、畳一畳あればどこでもできる、動き易ければどんな服装でもいい。器具も音楽も面倒な準備は一切要らない。やってみない？」と誘われた。私は何か運動をしなければというぼんやりとした動機から、三〇代半ばを過ぎたころから太極拳、気功、エアロビックスなどを断続的にやってきた。二年前、それらを辞めてしまっていた矢先だった。真面目だけれど手軽という誘い文句に惹かれ、開設されたばかりの教室に早速出かけてみることにした。服装はTシャツにズボン、バスタオル一枚を持参しただけである。

初めてやってわかったことは、これは三十一の動作を順番にやる体操で独特の呼吸法のもと、やっている一人ひとりが号令を掛ける、ということだった。三十一の動作をひと通りやり終わるのにほぼ二〇分かかる。これを毎日二回やると健康にとても良いのだそうだ。怠け者の私は週一回教室に通ってやるのが精一杯。けれども何もしないのと週一度でもやるのとでは大違いである。私自身は今のところ健康上特に問題はないが、やり始めてから二、三ヶ月過ぎた頃、とにかく代謝がとても良くなったのを実感した。変な言い方だけれど、老廃物が効率よく排泄されているという感じである。なかには二年間で十キロ痩せて、特に背中にあった贅肉が取れてメリハリのある体型になった人がいる。これまでやってきた体操と違うのは、そこに来ている方たちが自分の健康を真剣に考えている点だ。十数人のメンバーは仲が良くていろいろと交流もあり、仲間に溶け込みやすく、居心地がいいのも素敵だと思った。

自彊術を一言で説明すれば、大正五年中井房五郎氏が、治療法としてやっていたことを基にして創案した日本最初の健康体操である。三十一の動作によってからだの隅々にある関節すべてを動かすことになる。前の動作は次の動作の準備になっているから、決められた順番どおりに行うことが大事だ。エネルギー消費量が少ないから、病弱者にもできるというのも他の体操にはない特徴である。即効性はないけれども、続けることによって生活習慣病を引き起こす高血圧、糖尿病や動脈硬化、自律神経失調症、不眠症、肥満などの治療や予防に役立つのである。

健康増進のために、感心のある方は下記広告を見てください。〈梶　公子〉

電磁波の健康被害？
高圧送電線を考える

中国四川省で発生した大規模地震で多くの死傷者がでて心が痛みます。中国政府はすばやく対応、日本からも援助がさしのべられているが、二次災害の危険性もあり、とにかく一日も早く元の生活に復帰できるよう望んでやみません。今回の地震で学校が大きな被害をうけ多くの子供たちが犠牲になりました。メディアによれば学校建設に手抜き工事あったと住民が調査をもとめたとの報道もあります。

巨大地震もさるものながら被害を大きくしたのが手抜き工事だとは二重のショックを受けたかたが多かったと思います。未来を担う子供たちを育み、災害時に地域住民の避難場所になる学校は如何なる時でも最も安全性が求められる場所ではないでしょうか。

そう思いつつ三島市内の学校を見た場合懸念される学校が徳倉小学校です。学校近くに高圧送電線があります。高圧送電線に長期間立らされ続けることにより、ガンなどの健康影響が起こる恐れがあるとの研究報告があります。多くの市民が不安を感じ、電力設備や携帯電話基地局をめぐる紛争や対策などが全国で相次いでいます。

世界保健機関（WHO）は、超低周波電磁波について、二〇〇七年六月に環境保健基準（EHC）を公表しました。その中で、「子どもが〇・三～〇・四マイクロテスラ（3～4ミリガウス）を上回る超低周波磁界にさらされ続けると、小児白血病発症の相対リスクが二倍になる」という疫学調査結果に基づいて、「因果関係ありとするには十分強固ではないものの、懸念を抱き続けるには十分強固である」と述べています。

これを受けて、経済産業省は「電力設備電磁界対策ワーキンググループ」を設置検討し、二〇〇七年十二月に「報告書案」をまとめました。これをもとに、日本で初の磁場規制値の策定を進めていますが、その規制値は一〇〇マイクロテスラ（西日本は八十三マイクロテスラ）と、極めて緩いものです。

この際、私たち市民、なによりも子供たちの健康を守るための電磁波対策はどうあるべきか、について考えてみることが必要ではないでしょうか。

徳倉　鈴木一郎

短歌
―　五月闇　―

講演の最後をいのちの深さ言いアレイダゲバラ父を語りし

その父の意思継ぐ瞳（ひとみ）よキューバへの愛誇らかに美しくある
（アレイダ・ゲバラ来日）

クラスター弾反対の声も小さくて五月闇列島重き雨降る

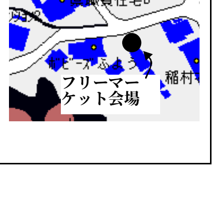
後悔はしないと決めしその夜を卯のはな白く闇にたゆたう

浅野　和子

楽々パソコン教室のご案内
毎週水曜日　夜
生涯学習センター
5F（パソコン教室）
午後7時～8時半
月4千円、1回1000円
【個別指導対応】
ワード、エクセル、デジカメ、
画像処理、ホームページ作成等
連絡先：055-986-1301（勝俣）

自彊術三島教室のご案内
日時　毎週金曜日 午前10:00～11:30
場所　三島市民文化会館 ゆうゆうホール 地下リハーサル室
経費　3ヶ月11回 9000円
連絡先 島田まさ子 090-4083−9184

三島児童文学を語る会　354回
6月例会のお知らせ
日時：6月28日（土）
13時30分～16時30分
場所 三島市大社町防災センター研修室」
テキスト 無人島の四年間」
小出正吾文学全集④　P43
五月・小出総会後の例会で、「ねはし提案解説」された本作品について、徹底討論検討、会員の皆さんからの感想を期待します。
事務局　小嶋利信　堀川尚子　山口当子
TEL　971−3348(山口)

みしま『源氏物語』を読む会
平安貴族の完璧な男社会の中で、経済力のない女性には自由の道はない。
男に愛されることで、自らの地位を獲得するか、
結婚を拒否して髪を下ろし出家するか、
さもなくば、自ら命を絶つか。
そこに描かれているのは、決して美男をめぐる甘っちょろい恋愛模様ではなく、恵まれない中流貴族の娘・紫式部が見た同時代の悩める女性たちの、壮絶なまでの生き方です。
源氏物語が生まれて1000年。時代は変わっても、変わらない人間の真実がそこにあります。
とき　毎月第1・第3月曜日（月2回）　午前10時から11時半
第1回　08年6月16日（月）
ところ　三島商工会議所3階　老人憩いの家
費用　テキスト、資料代等実費　※使用テキスト角川文庫『源氏物語』
申し込み　055-972-4953 こくごビレッジ（高月フミコ）

フリーマーケット
毎月 第1、第3土曜日
10:00～15:00頃まで
新鮮野菜、干物、
衣類・・・etc
低価格で提供、
価格応談
徳倉2丁目2−30
連絡先：988−1651